

令和6年度 第1回聖籠町学校給食運営委員会 会議要録

日 時 令和6年10月15日(火)午前10時から午前11時25分まで

場 所 聖籠町役場 3階 第2会議室

出席委員 西村委員、藤井委員、小林(隆)委員、伊藤委員、丹後委員

土田委員、宮下委員、齋藤委員、高橋委員

欠席委員 飯田委員、小林(和)委員

事務局 西村委員、藤井委員、小林委員、伊藤委員、丹後委員

近藤教育長、佐藤課長、天野課長補佐

長谷川栄養士、高橋主幹栄養士、細貝主事

次 第 1 開会

2 委嘱状交付

3 教育長あいさつ

4 委員自己紹介

5 委員長及び副委員長互選

6 教育委員会からの諮問

7 議事

(1) 学校給食の運営状況について

(2) その他

8 閉会

会議の経過及び結果

委員長及び副委員長互選

○委員の互選により、齋藤委員が委員長に選任され、飯田委員が副委員長に選任された。

教育委員会からの諮問

○近藤教育長より「学校給食費の見直しについて」の諮問文が読み上げられ、齋藤委員長への伝達が行われた。

○委員

現在、給食費が270円で30円軽減されているわけですが、見直しをして試算通り325円となると、保護者の負担が55円アップするということですが、この325円に対して町からの軽減というものが新たにあるのか。そうではなくて、325円負担してもらうという考え方でしょうか。そのあたりを教えてください。

○事務局

まだ事務局案ということで、皆様方からどんな意見が出るのかということをお聞きしたいなと思っています。

今ほど言われたように、一気に50円上がるというのは、さすがに保護者にそれを求めるということ自体が難しいだろうと考えています。ただ、事務局の方の考え方としては、給食費の食材料費については保護者が負担するという法律上の明記があるものですから、一応給食費の価格はそこに設定したいと考えています。

あとは、小学生であれば270円から325円というところには持っていけないので、価格はそれなんだけれども、このぐらいにしましょうというところはありかなという風に考えていますし、逆にそうしないと保護者の納得感が得られないだろうと思っております。

一応そんな形では考えてはいますけれども、やっぱり価格自体は、その食材料費に合った価格に、法律上の明記と同じようにしておきたいというのが事務局として考えているところでございます。

○委員

わかりました。

予算を獲得する目処というのはあるのでしょうか。

○事務局

それを教育委員会がどう考えるかというところもございます。町の現状として、小学生は300円なんだけれども270円にしている。これが同じような原理で325円にしたら300円にするというところはありかなと思っています。教育委員会の方でどう考えるかですけれども、町長の方でも一応ある程度の施策は多分考えるだろうという風に考えております。

先ほど教育長もお話ししましたがけれども、県内の状況等を見ても、給食費は値上げしないとか市や町の施策として無償にするというところを除いたところは、国から交付金が出ていたので給食費を抑えますと言っていたんですけども、交付金がなくなったので、全部値上げの方向で行っているんですね。

それを今どこにするかというところが、いろんな自治体へ電話して確認した時に、これから議論に入りますということで、町と同じような状況になっているということはありません。

あとは、トップの施策で、価格は多分同じように上げるんだろうけれど、どこに抑えるかというところになるのではなかろうかなと読んでます。

周りの市町村の事務局側の考え方であって、逆に保護者の皆さんとかPTA会長さんにお聞きしたいのが、どんな感じなのか。そういうのは受け入れられるのかなとか、感覚的にやっぱりこうあってほしいなというご意見をいただくとありがたいかなと思っています。

○委員

個人の意見としてですけど、今の状況を考えれば、給食費が上がるというのは致し方ないかなという風に思います。子ども達としても、給食というのをすごく楽しみにしているところもありますし、色々と工夫してもらっているというのもすごくありがたいことです。保護者としては上がるということに、皆さんなんでだという風になるかもしれないですけど、今の状況を考えれば全然上がるというのはもう致し方ないかなという風に個人的には思っています。

それがいくらとか詳しく値段までであると、そうしなければいけないのかなと思うんですが、一個人としては上がることにに対しては仕方ないのかなと考えております。

○委員

今、お話を色々伺ったんですが、献立を考えているというのを色々説明をいただいたんですが、すごい努力をなさっているなど。本当に感服したというか、味を落とさず、子供たちも美味しいと言って食べていると思うので、すごい努力をなさっていたなど本当に思いました。

例えば、主食。今、米の価格が上がっているんですけど、全体的な麺とかパンとかから見ると価格がだいぶ低いのでパンとか麺をもう少し減らして、米の価格や米の美味しさなど価格の面からも有効だと思いますけれど、もう少し増やしたらどうか。平均的に見れば少ないかもしれませんが、そうしたことも有効かなと思っています。

価格が上がることにに対しては、今の時代に止むを得ないのかなと思いますけれど、あとは上り幅かなと思います。あとは少し検討が必要かなと思います。

○委員

さっき1,400万円の数値がありましたが、あれは公費30円を含んだものなのか、それとも別途なんでしょうか。それを見込んで1,400万なのか、それとも集めたものと他の別途で、町は1,400万を予定して組み込んでいるのでしょうか。

○事務局

材料費というのは町が払っているものなので、予算というお話になると、これぐらいの見込みだろうと。予算は実際、給食の収入よりも多めに盛っておいて、あとはそこからお支払いをするので、今年度ゴールするときに、いただいた給食費はこのぐらいだとしても多分材料はこのぐらいに来ると。この差が先ほどの金額になるだろうというところなんです。30円部分を全部合計するとその幅が大体そうなります。毎日、食材は一食あたりがすごく動くので、概算でしか今は出せないんですけども。決算で出ると明らかに給

食費と使った材料費もこれぐらいの1,000万以上の差は出てしまうという実情でございます。

○委員

今、給食の試算額等が出たんですけれど。例えば試算額で上げた時にこの見直しも同時に図っていくという感じなんですか。

例えば、試算額が諮問されて上がったとなった時に、ここで給食献立の見直しとか。やっぱり給食費を上げても、献立の見直しも図っていかなければいけない現状があるという感じでしょうか。

○事務局

そういう感じになります。

○委員

以前、これではない会議であったと思うんですが、確か栄養の面からデザートが多いんじゃないかと発言した時に、デザートで栄養価を補っているんだという風なお話があったんです。色々なところでデザートが多いかなと思うんです。デザートの単価って高いじゃないですか。ですので確かにメリハリつけてお誕生日給食の時はつけるけれども、何かある時はちょっと減らすとか。そういったメリハリをつけた献立をすることによって、可能なところを今も努力してもらっているところもあるのかな。

例えば、沢煮碗のところに5回出すうちに1回はタケノコを入れましょうとか。そういうような形で事業努力をされてるんだと思うんですけれども、こういう形が必要なのか。アルビ牛乳ってあるんですが、あれは安くなるんですか、高くなるんですか。

○事務局

同じ値段なんです。

○委員

スポンサーがつくから安くなるとかはないんですね。そっちで利用した方がいいのかなと思っただけなんですけど、色々ありがとうございます。

そう考えると、調理場もいっぱい努力していただきながら、メニューを考えていただきながら、事情努力していただきながら、ある程度の負担をするっていうのは確かにしょうがないのかなと私自身は思います。あとはその幅と公費負担をどうするかっていうところかなと思います。

○委員

値上げをするタイミングっていうのはやっぱりあると思っていて。

この物価が高騰しているからということで、今ならばご理解を得られる。なので上がり幅はもちろんいいんですけれども。

町が1,400万を補助している。来年度以降も例えばそれぐらいの補助をお願いするとなれば、上げ幅は小さくはなるんだけれどもいずれはそれを回収しなきゃいけないと思うんですよね。物価が下がることはもう考えられないわけですし。

今回の価格の改定で、何年ぐらい持たせようと思っているのかとか。1,400万やっつけましょうってなった時に、それを何年で回収するつもりなのか。つまり、何年後かには

もう一回値上げをしなきゃいけないわけですね。その辺の目途というか、どういう風に考えていけばいいのか。

○事務局

給食費については、今までもそうなんですけれども、社会情勢とか食材料費の現状を踏まえて委員会にかけていくというのが本来のスタンスで、コロナ前までは結構な市町村で毎年のように議論されて、据え置くとか、そのまま上げるとか、何円単位なんですね。価格が上がったりということを繰り返したみたいなんですけども。

当町については、平成24年から価格は上がってるにも関わらず、全部町負担でなんとかしようと言って値段を据え置いてきたという経緯があるんですけども。

さすがにパンク状態で、給食センターの方で、色々工夫がされていたんですけれども。そうすると、子供たちに美味しいものがなかなか行き届かない。鶏肉ばかりとか、割合が高いとか、それじゃあ、良くないでしょうということで、見直しをかけて上げたけども、コロナが来てというところになって。

現状として、もうかかってしまっているのは、町の政策として長がオーケーを出しているの、そこを回収しようという考え方はないので。現行でなんとか維持できるようなところのボーダーラインはどこかっていう風に考えています。

なので、また物価上昇がさらに伸びてくれば、申し訳ないけれども、またこういった場を設けて、その都度議論させていただきたいという風に考えています。何年か据え置くという考え方ではございません。

○委員

例えば、上昇分の1,400万円分の補助をするということは、来年度以降もそれを見込むということは可能だということでしょうか。

○事務局

一応、事務局の方としましては、町長にも委員会で議論しますというお話は入れてあります。それはぜひやってくれということだったんですけども。給食費については国の方が無償化という話を出してはいるんだけど、その後、国からのアナウンスがなくてこっちも困ってるんですけども。

それが出てくれば、たぶん、全国一律に無償化にはいずれはなるとは思うんですけれども、それがなかなか進んでいない状況で。

長としても、それはあるけれども、いくらかはやっぱり自分の政策として支援はしたいというようなことは仰ってましたので。先ほど私が申し上げた通り、価格は法律上そういう風な設定になっているから、ある程度町の方でも、いきなりというのは保護者、住民感情としても納得いかないだろうから、自分の方の施策としてなんとか考えるということで考えてはいるんですけども。どこにするかまでは、ここの金額がどうなるかによって、じゃあどこまでっていうので試算を出して、いろんな町長の施策の中でここにくらとかって多分考えていらっしゃると思うので、この給食費にいくらぐらいの予算を考えてるかはその試算次第ということにはなろうかなと思ってます。

○委員

私も、親の立場からなんですけれども。給食とは別で、普段の買い物、スーパーに行っても、今まで1,000円でこれだけ買えたというのが全く今では違う。これしか買えない

というような金銭感覚というか、上がったのはすごく感じているので、保護者の立場から、給食費が上がるというのは、みんなそこまで抵抗はないのかなと。現状としては仕方ないのかなという声が多いかなと思うところと、町がそれだけ負担をしてくれてるというのは知らなかったの。

そういうのはどこかでお知らせみたいなものは出てるのでしょうか。

○事務局

町の広報誌で、5月号あたりに町長の今年度の政策ということで打ち出してある中に、給食費について政策として出してますよとは出ているんですけども、それぐらいしか出てないので、ちょっと伝わり方が弱いかなという感じで思っています。

○委員

それだけ負担してくれているのに、親が知ったら尚更共感すると思います。

○事務局

そこは、周知の仕方がちょっとうまくないというのを今ほどお聞きして感じましたので、来年どうなるかわかりませんが、そういったことがあるのであれば、周知の仕方を考えていければなと思っています。

委員長、事務局から勝手に申し訳ございませんが、認定こども園の方の給食費の具合がどんな感じが教えていただけるとありがたいです。

○委員

町から3年、来年度まで補助をいただいているんですけども。やはり収入によって違ってきてしまうので。住民税が上がれば給食費も上がってくるので、その辺のところでご質問をいただいています。所得が増えると急に上がるんですね。

○事務局

3、4、5歳児の給食費の方は値上げとか考えていないですか。

○委員

考えていないです。なんとかギリギリという感じです。

○事務局

その中でやりくりして、いま6,900円でしょうか。

○委員

メニューはだいぶ変わっています。

例えば、焼きそば、麺がやはり高いのでなくすとか減らしていくとか。食材のシーフードのようなものは、やはりイカとかエビとか高いので、それをあまり使わないとか、果物とかも、減ってきてしまうんですけども。

栄養士の先生たちも仰ってましたけど、認定こども園は食育という部分がとても大きいので、聖籠町は果物が地場物産にもあるので、食育を兼ねてこの季節はこうだこうだという風にお知らせするので、あんまりそういうところは減らしたくないなど。

○事務局

月額が、だいたい 6,900 円で、幼稚園と比べるとその差があるというところも、やはり町民のお子さんでもというところも、少し懸念材料としてはそういった風に町もしていきたいなというところも一つあります。

○事務局

試算ということで、目安の小学生では 325 円、中学生は 383 円、幼稚園 288 円という目安をお示しさせていただいたんですけど。そこについて、委員会としては、それが高いか、ちょうどいいのか安いのか、その辺の価格について、例えばもっとあげた方がいいんじゃないかとか、いやいやまだとか、その辺のご意見をストレートにいただけたらなというところでございます。

目安が出てしまうと、そこから動かすのは非常に難しいところもあるかと思うんですが、この資料をご覧ください、あとは他市町村との比較でしょうか。見ていただいてとなるかと思いますが。

○事務局

全部切り上げて、この価格でやった場合、取り扱い注意の資料で比較していただくと分かりやすいと思いますが小学生でいくと上位になります。それが妥当かというところになります。

○委員

この試算のとおり上げると、小学校で一食 55 円上がる。55 円は相当だから 30 円までかなとか。

○委員

前回よりは、多くなるというのは町の財政を圧迫するので、やはり 30 円よりも下か、ギリギリ 30 円ぐらいから下回った方が、今後の町の財政を考えた時に保護者負担がずっと 270 円のまま意識はずっと行くわけですね。そうすると町の財政も考えた中で、やはり 30 円を、前回の幅を上回らないというのが、なんとなくかなという感じもするんですよね。

○事務局

実際、かかる額があるとする、今 300 円にしてるけれど 270 円なので、それを当面の間というのをなくして 300 円というところで。実際の価格はこうだけど、その辺が妥当じゃないかというところですね。わかりました。

○委員

委員が仰ったとおりで、学校運営にかかる予算というのは大体限られて決まった額で。この給食費を見直すことによって、若干、学校運営にかかるお金が上乗せされて、いっぱいこちらに予算はあるということが考えにくいですね。

ある程度、町の補助していただくお金は、ひとりあたり 30 円程度はなんとか現状でできるわけなので。そこはキープしていただいて。その分、給食の単価に足りない分を値上げという形で保護者負担が多少増えて、25 円から 30 円ぐらいはというところで納得していただくと。

については、町からも年間このくらいの公費で給食費の補助を出してますよということはアナウンスして理解を得るという、そういう形がいいのかなという風に私は思いました。

○委員長

ご審議ありがとうございました。

委員会の意見をまとめるとすると、委員が言われたように、町の補助的なところも考えて、保護者の負担は少し増えつつも町での補助をいただいて軽減策という支援策を望むような形で答申をさせていただくというようなまとめでよろしいでしょうか。

(一同、了承)

ありがとうございます。答申書につきましては、 本日の内容を私と事務局で調整した上で、教育長へ出させていただくということでよろしかったでしょうか。

(一同、了承)

○委員長

ありがとうございます。

次に、移させていただきます。括弧2、その他となっておりますが、事務局何かありますでしょうか。

○事務局

特にございません。

○委員長

特にないようですので、本日の議事は以上で終了させていただきます。

皆さま、ご審議ありがとうございました。それでは、事務局にお返しいたします。

○事務局

委員長、どうもありがとうございました。

学校給食の見直しについてということで、教育長の方から諮問に対し、長時間に及ぶご審議いただきまして大変ありがとうございました。

今ほど委員長申し上げた通り、答申書の内容につきましては、この後、委員長と事務局の方で作らせていただいて、それを教育長に手稿いたしまして、教育長の方から教育委員会の定例会の方に直近であげたいと思っております。

その後、教育委員会で決定した後、今度、町長に対して、こういうことで教育委員会としては決定しましたという形になります。

早い段階で決定して、保護者の方に値上げとなれば周知しなければいけないので、対応を取っていきたいと思っております。

それでは、長時間に及びましてご審議いただきまして、大変ありがとうございました。

本日はこれで会議を終了させていただきます。お疲れさまでした。